代　表　質　問　発　言　通　告　要　旨

＜令和５年度施政方針並びに予算案に対する代表質問＞　　（令和５年三島市議会２月定例会）

発言順位	発言要旨	発言者	備考
1	1 財政について	緑水会代表 松田　吉嗣	2月22日 （水）
	2 スマートウエルネスみしまについて		
	3 各小学校施設の長寿命化に向けた取り組みについて		
	4 三島駅南口東街区再開発について		
	5 出産・子育て支援について		
	6 新庁舎の整備について		
2	1 本当に支援が必要な市民の方々に対する施策について	改革みしま代表 土屋　利絵	
	2 子どもたち、高齢者、障がいを持った方が生きやすい世の中にしていくために		
	3 福祉を充実させていくための税収を増やしていく政策について		
3	1 将来負担の軽減に向けた持続可能な財政経営について	新未来２１代表 宮下　知朗	
	2 住み慣れた地域で健幸を実感できる政策の推進について		
	3 生産年齢人口の減少を緩やかに保つ政策の推進について		
	4 未来を担う子どもたちの健全育成について		
	5 安全・安心に暮らすことのできる環境整備の推進について		
	6 未来に向けて飛躍するための稼ぐ政策の推進について		
4	1 安心・安全への備えである防災対策について	公明代表 堀江　和雄	2月24日 （金）
	2 健康で福祉が充実したまち		
	3 未来につなぐ人材を育むまち		
	4 交流とにぎわいのあるまち		
	5 快適で暮らしやすいまち		
	6 共に創る持続的に発展するまち		
5	1 過去最大となる令和５年度予算規模の歳入根拠について	日本共産党議員団代表 服部　正平	
	2 市長４期目就任にあたり述べた「リセット」の決意と意味合いについて		
	3 持続的発展に向け、市民の声を踏まえ市政運営が「リセット」されているか		

問い合わせ先：三島市議会事務局（電話番号　055-983-2600）

発言順位	１番

代 表 質 問 発 言 通 告 書

下記事項について質問をしたいので、会議規則第５１条第１項の規定により通告します。

令和５年　　２月　１５　日

三島市議会議長　川　原　章　寛　様

三島市議会議員　１１　番　松田　吉嗣

質問事項及び具体的内容

１　財政について

（１）自主財源比率アップへの取り組み

（２）歳入　自主財源（財産収入・使用料・寄付金）の増収・安定確保への取り組み

（３）歳出　補助金・負担金の前年対比等の状況

２　スマートウエルネスみしまについて

（１）健幸づくりの推進に向けた新たな取り組みについて

（２）重要施策の予算半減

３　各小学校施設の長寿命化に向けた取り組みについて

（１）各小学校の児童数の予想推移

（２）今後の小学校の補修整備の計画について

（３）三島市立学校のあり方の検討について

４　三島駅南口東街区再開発について

（１）これまでの取り組みの進捗状況について

（２）今後のスケジュール

５　出産・子育て支援について

（１）新たな取り組みによる効果について

（２）子育て応援・支援の取り組みによる地域間競争

６　新庁舎の整備について

（１）財源の見通し

（２）新庁舎建設基金の見通し

発言順位	２番

代 表 質 問 発 言 通 告 書

下記事項について質問をしたいので、会議規則第５１条第１項の規定により通告します。

令和５年２月１５日

三島市議会議長　川原　章寛　様

三島市議会議員　　１８番　　土屋　利絵

質問事項及び具体的内容

コロナ禍を脱却していくための令和５年度予算案について

令和５年度予算は三島市においても過去最大規模の４２４億８千万円となり、コロナ禍をなんとか脱却していこうとする予算案ではないかと考えます。福祉政策をパワーアップし、新たな街づくりのためにも今後の税収確保に向けて基盤を作っていかなければならない大切な年度です。

さて、この３年間を振り返ると、コロナ禍においては、異常な規模で、国から自治体への財政支出が行われてきました。しかし、自治体としたらもらえるものはやはりもらいたいわけです。豊岡体制に期待したのは、国からの交付金をまずは本当に必要な市民の方々に届けていくこと。そして、将来の果実になるようなお金の使い方です。令和５年度の予算案を検証していくためには、過去３年間のお金の使い方を検証し、令和５年度予算案に生かしていくことだと考え、下記のとおり伺います。

１　本当に支援が必要な市民の方々に対する施策について

（１）過去３年間の地方創生臨時交付金を活用した事業を受けて、令和５年度に実施していく福祉施策について

（２）生活困窮に陥りそうな方々をしっかりサポートしていくための施策について

（３）住まいを失うおそれのある方々の住まいを確保していくための施策について

２　子どもたち、高齢者、障がいを持った方が生きやすい世の中にしていくために

（１）生まれた子どもたちを見守るための施策について

（２）不登校の子どもたちに対する支援について

（３）障がいを持つ方の雇用、児童発達支援、自立支援、親亡き後の支援について

（４）高齢者支援の中心となる地域包括支援センターの現状と今後について

３　福祉を充実させていくための税収を増やしていく政策について

（１）市民に喜ばれる三島駅南口東街区再開発としていくための取り組みについて

（２）大場のまちづくりに向けての体制や方向性について

発言順位	３番

代 表 質 問 発 言 通 告 書

下記事項について質問をしたいので、会議規則第５１条第１項の規定により通告します。

令和　５年　２月１５日

三島市議会議長　川原　章寛　様

三島市議会議員　１６　番　　宮下　知朗

質問事項及び具体的内容

新型コロナウイルスの感染症法の位置付けを引き下げるとの表明がなされたものの、ロシアによるウクライナ侵攻や物価高騰などによって、我々の生活は依然として厳しい状況が続いており、豊岡市政４期目のスタートは、先が見通せない難しい状況下での船出となります。

このような中、未来に希望を持てるまちづくり、ウェルビーイングを実感することのできるまちづくりを着実に推進すべく、令和５年度施政方針並びに予算案に対しまして、下記のとおり伺います。

１　将来負担の軽減に向けた持続可能な財政経営について

(1) 市債残高の削減および自主財源比率の向上に向けた取組について

(2)「最少の経費で最大の効果を挙げる」業務効率化および市民サービス向上の取組について

２　住み慣れた地域で健幸を実感できる政策の推進について

(1) 健幸都市の実現に向けた取組について

(2) 歳を重ねても自分らしく過ごすことのできる地域力の強化・深化に向けた取組について

３　生産年齢人口の減少を緩やかに保つ政策の推進について

(1) 若い世代に選ばれる移住・定住施策の更なる促進に向けた取組について

(2) 安心して出産・子育てをすることのできる環境整備について

４　未来を担う子どもたちの健全育成について

(1) 教職員の多忙化解消に向けた取組について

(2) 特別な配慮が必要な子どもたちへの支援拡充について

５　安全・安心に暮らすことのできる環境整備の推進について

(1) 安全・安心な暮らしを守るための防犯対策について

(2) 頻発・激甚化する自然災害から命と暮らしを守るための取組について

６　未来に向けて飛躍するための稼ぐ政策の推進について

(1) 魅力ある就労場所の確保および既存企業の盛業化支援の取組について

(2) 新たなにぎわい・交流を創出するための取組について

発言順位	４番

代 表 質 問 発 言 通 告 書

下記事項について質問をしたいので、会議規則第５１条第１項の規定により通告します。

令和５年　２月　15 日

三島市議会議長　　川原　章寛　様

三島市議会議員　　４　番　　堀江　和雄

質問事項及び具体的内容

支えあい、安心と活力ある社会へ向けて、地域の個性を活かしながら課題の解決、魅力向上を実現し地域活性化を加速しようとするデジタル田園都市構想を進めていく。デジタルを活用して三島市が自ら目指す地域の姿を描き主体的に構想を実現する事が必要と考えます。

以下令和５年度施政方針並びに予算案について伺います。

１　安心・安全への備えである防災対策について

（１）災害発生時の被害状況把握のしくみと首都直下地震などから守るまちづくりについて

（２）大雨対策としての都市下水路の整備と農業を活用した治水対策（田んぼダム）について

２　健康で福祉が充実したまち

子どもの幸せを最優先とする社会の実現と少子化人口減少を乗り越えるために

（１）0～2 歳児への伴走型相談支援と経済的支援をより効果的に届けるための取り組みについて

（２）健幸づくりアプリの活用など市民の更なる健康増進に向けた取り組みについて。
また、特定検診とがん検診のセット受診などによる検診率・受診率向上について

（３）高齢者の社会参加の機会創出について。65 歳以上の高齢の方もお元気な方が人のためにボランティアとして活躍できるしくみ作りについて

（４）高齢者の暮らしを支える買い物支援「食料品アクセス困難な方」への支援について

３　未来につなぐ人材を育むまち

（１）リカレント教育を発展させたリスキリングへの取り組みについて

（２）小中学校の業務改善のシステムを導入など、校務の DX 化による教職員の働き方改革について

（３）次代のリーダーの育成に向けた新たな取り組みについて

４　交流とにぎわいのあるまち

（１）早朝・ナイトタイムも楽しみ滞在時間を長くする観光振興の取り組みについて

（２）サテライトオフィスなど IT 企業誘致と産業振興・地域活性化及び雇用機会の拡大について

５　快適で暮らしやすいまち

（１）土地利用政策の推進、大場地域を脱炭素先行地域とした GX を先取りした取り組み及びデジタル技術を活用した新たな産業の誘致について

６　共に創る持続的に発展するまち

スマート市役所の推進など更なるデジタルの活用による利便性向上について

（１）ICT を活用したまちづくり戦略について

（２）行政運営の改善と人材育成及び職員のデジタルリテラシーの向上について

（３）マイナンバーカード普及により市民が利便性を感じられる取り組みについて

発言順位	５番

代 表 質 問 発 言 通 告 書

下記事項について質問をしたいので、会議規則第５１条第１項の規定により通告します。

令和　５年　２月　１５日

三島市議会議長　　川原　章寛　様

三島市議会議員　９番　　服部　正平

質問事項及び具体的内容

令和５年度に向けた施政方針説明では「新型コロナウイルス」への警戒感、「資源価格の高騰」・「円安」による物価の高騰等の不安要素を抱える中においても、将来を見据え市政発展に向け、行政課題への迅速かつ的確な対応のため副市長を新たに１名配置し、持続的な発展に結びつけるとのことでありました。

その持続的な発展に向けた令和５年度一般会計予算は総額４２４億８，０００万円と過去最大規模となっています。

予算における前提である歳入では景気の持ち直しが期待され、市民税、地方交付税の増収を見込んでおられます。

一方、歳出における各種事業では新規事業、拡充される事業もありますが、総じてこの間の取り組みの延長線上ではないかと思われます。

以上の点から令和５年度の予算・事業概要、持続的発展について以下、質問を行います。

１　過去最大となる令和５年度予算規模の歳入根拠について

（１）歳入の根幹である市民税・法人市民税が前年を上回る景況感が市内にあったか。

（２）固定資産税の伸びの要因を移住世帯の増加としている根拠について

（３）依存財源とされる地方交付税、地方特例交付金における国の動向をどう捉えているか。

２　市長４期目就任にあたり述べた「リセット」の決意と意味合いについて

市長選後市長就任にあたり「自身の頭と心をリセットして街づくりに取り組む」と決意を述べられた。この「リセット」という発言は、市長在任１２年及び市長選で掲げた公約などもあっての「リセット」であると市民は受け止めたのではないかと考える。

しかし、施政方針説明内容は総じてこの間と比べ差異がある姿勢ではないと受け止めることから以下伺う。

（１）新規、拡充策として掲げた事業の視点について

（２）民間の持つ力を各事業にどう活かすか

（３）都市計画推進に向け市民の声をどう反映させるか

３　持続的発展に向け、市民の声を踏まえ市政運営が「リセット」されているか。

（１）当議員団が求めた要望を、令和５年度予算案に多く組み込んだとする事業とは何か。

（２）SDGs 目標達成に向けた各種事業の取り組みは令和５年度計画どおり進むか。

（３）国が進める異次元の金融政策、エネルギー・食料の輸入依存、移住定住、防衛等の政策は、三島市の発展につながるものであるか。